JASDAQ

平成24年2月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年12月30日

上 場 会 社 名	株式会社きょくとう	上場取引所	大
コ ー ド 番 号	2300	URL	http://www.cl-kyokuto.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)牧平　年廣	
問合せ先責任者	(役職名)専務取締役経理部長	(氏名)三好　清一郎	(TEL)092(503)0050
四半期報告書提出予定日	平成24年1月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1.　平成24年2月期第３四半期の業績（平成23年3月1日～平成23年11月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第３四半期	5,455	△1.8	533	△3.9	577	△5.5	285	△9.7
23年2月期第３四半期	5,557	△5.0	555	11.2	610	10.4	315	25.5

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第３四半期	51 45	―
23年2月期第３四半期	56 95	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第３四半期	5,206	3,567	68.5	643 73
23年2月期	4,944	3,347	67.7	604 10

(参考)　自己資本　24年2月期第３四半期　3,567百万円　23年2月期　3,347百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	―	5 50	―	5 50	11 00
24年2月期	―	5 50	―		
24年2月期(予想)				5 50	11 00

(注)　当四半期における配当予想の修正有無　：　無

3.　平成24年2月期の業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,120	4.1	442	2.6	504	0.2	213	△17.6	38 61

(注)　当四半期における業績予想の修正有無　：　無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　有

（注） 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

② ①以外の変更　　：　無

（注） 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年2月期3Q	5,551,230株	23年2月期	5,551,230株
② 期末自己株式数	24年2月期3Q	9,590株	23年2月期	9,590株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年2月期3Q	5,541,640株	23年2月期3Q	5,541,720株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期の業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 業績予想に関する定性的情報 …… 3
2.　その他の情報 …… 4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
3.　四半期財務諸表 …… 5
(1) 四半期貸借対照表 …… 5
(2) 四半期損益計算書 …… 7
【第３四半期累計期間】 …… 7
【第３四半期会計期間】 …… 8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 9
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

1.　当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第３四半期会計期間におけるわが国経済は、円高の長期化や欧州の経済不安に加えて、タイの洪水被害もあり、生産や輸出に影響が見られ、先行き不透明な状況が続いております。

個人消費は、引き続き低調に推移しており、雇用・所得環境も、依然として厳しい状況で推移しております。

当社におきましても、個人消費の低迷に加え、原材料の高止まりなどによるコスト上昇など厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は、当第３四半期会計期間の取り組みとして、秋の衣替えシーズンを迎え、恒例の「秋のプレゼントキャンペーン」に加えて、６月より新たに発売を開始した「はねことまもる」や「しみ抜き」等の付加価値商品の販売を強化し、需要獲得に努めました。

また、当第３四半期会計期間において新たに４店舗を出店し、加えて３店舗を移転リニューアルいたしました。これにより当第３四半期累計期間の新規出店は22店舗、移転リニューアルは９店舗となりました。

以上の結果、当第３四半期会計期間の業績は、売上高は1,568,228千円と前年同四半期と比べ7,944千円（0.5%）の減収となりました。営業利益は20,368千円と前年同四半期と比べ20,721千円（50.4%）の減益、経常利益は34,347千円と前年同四半期と比べ25,784千円（42.9%）の減益、四半期純利益は17,001千円と前年同四半期と比べ13,933千円（45.0%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて231,923千円増加し、2,258,346千円となりました。これは、現金及び預金が191,787千円、売掛金が21,345千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて29,467千円増加し、2,947,706千円となりました。これは、有形固定資産が32,825千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて261,391千円増加し、5,206,053千円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて72,199千円増加し、1,009,816千円となりました。これは、１年内償還予定の社債が35,000千円減少したものの、未払金が42,374千円、ポイント引当金が19,578千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて30,410千円減少し、628,890千円となりました。これは、資産除去債務が84,781千円増加したものの、長期借入金が108,596千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて41,788千円増加し、1,638,706千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べて219,602千円増加し、3,567,347千円となりました。これは、利益剰余金が224,164千円増加したことなどによります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第３四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、第２四半期会計期間末に比べ124,269千円減少し、当第３四半期会計期間末には1,515,932千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期会計期間における営業活動による資金の減少は、前年同四半期と比べ47,788千円増加（前年同四半期は24,927千円の収入）し、22,860千円となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益30,710千円、減価償却費29,487千円、賞与引当金の増加額21,197千円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額118,702千円、売上債権の増加額10,622千円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期会計期間における投資活動による資金の減少は、前年同四半期と比べ64,291千円（68.2%）減少し、29,945千円となりました。

収入の主な内訳は、定期性預金の払戻による収入134,457千円等であり、支出の主な内訳は、定期性預金の預入による支出149,500千円、有形固定資産の取得による支出15,931千円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期会計期間における財務活動による資金の減少は、前年同四半期と比べ44,655千円（166.6%）増加し、71,463千円となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出38,292千円、配当金の支払額30,059千円等であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年２月期の業績予想につきましては、平成23年４月15日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

③繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

④税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ2,963千円減少し、税引前四半期純利益は58,758千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は83,068千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成23年11月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成23年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,004,813	1,813,026
売掛金	65,540	44,194
商品	22,469	20,041
原材料及び貯蔵品	18,878	14,454
前払費用	71,223	61,745
その他	75,421	72,959
流動資産合計	2,258,346	2,026,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	424,246	395,321
土地	1,687,777	1,687,777
その他（純額）	72,306	68,406
有形固定資産合計	2,184,330	2,151,505
無形固定資産		
のれん	7,522	19,590
その他	60,390	68,464
無形固定資産合計	67,913	88,055
投資その他の資産		
差入保証金	475,758	476,615
その他	219,704	202,063
投資その他の資産合計	695,463	678,679
固定資産合計	2,947,706	2,918,239
資産合計	5,206,053	4,944,662
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,471	30,243
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	－	35,000
1年内返済予定の長期借入金	146,888	153,543
未払金	329,578	287,203
未払法人税等	146,574	135,219
賞与引当金	47,693	41,693
役員賞与引当金	－	3,250
ポイント引当金	124,170	104,592
資産除去債務	280	－
その他	73,160	46,872
流動負債合計	1,009,816	937,616

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成23年11月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成23年２月28日）
固定負債		
長期借入金	222,654	331,250
退職給付引当金	110,656	106,896
役員退職慰労引当金	122,645	121,094
資産除去債務	84,781	－
その他	88,153	100,060
固定負債合計	628,890	659,300
負債合計	1,638,706	1,596,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,966	395,966
利益剰余金	2,626,728	2,402,564
自己株式	△3,133	△3,133
株主資本合計	3,574,653	3,350,489
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,306	△2,743
評価・換算差額等合計	△7,306	△2,743
純資産合計	3,567,347	3,347,745
負債純資産合計	5,206,053	4,944,662

(2) 四半期損益計算書

【第３四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）
売上高	5,557,003	5,455,429
売上原価	1,643,652	1,599,876
売上総利益	3,913,351	3,855,553
販売費及び一般管理費	3,357,881	3,321,901
営業利益	555,470	533,651
営業外収益		
受取利息	803	481
受取配当金	1,084	549
受取家賃	28,537	28,073
その他	36,362	23,264
営業外収益合計	66,788	52,368
営業外費用		
支払利息	6,779	5,462
その他	4,664	3,383
営業外費用合計	11,444	8,846
経常利益	610,813	577,174
特別損失		
固定資産売却損	839	556
固定資産除却損	8,090	5,840
減損損失	8,201	－
投資有価証券評価損	7,621	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	55,794
特別損失合計	24,753	62,191
税引前四半期純利益	586,060	514,982
法人税等	270,469	229,860
四半期純利益	315,591	285,122

【第３四半期会計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期会計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成22年11月30日）	当第３四半期会計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成23年11月30日）
売上高	1,576,173	1,568,228
売上原価	501,406	499,011
売上総利益	1,074,766	1,069,216
販売費及び一般管理費	1,033,676	1,048,848
営業利益	41,089	20,368
営業外収益		
受取利息	163	128
受取配当金	199	－
受取家賃	10,216	9,081
その他	11,050	7,014
営業外収益合計	21,630	16,223
営業外費用		
支払利息	2,237	1,649
その他	351	594
営業外費用合計	2,589	2,244
経常利益	60,131	34,347
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	63	－
特別利益合計	63	－
特別損失		
固定資産除却損	－	3,636
減損損失	2,714	－
特別損失合計	2,714	3,636
税引前四半期純利益	57,480	30,710
法人税等	26,545	13,708
四半期純利益	30,934	17,001

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	586,060	514,982
減価償却費	80,857	85,201
のれん償却額	20,345	12,068
減損損失	8,201	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,216	3,759
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△3,215	1,551
賞与引当金の増減額（△は減少）	13,830	6,000
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,250	△3,250
ポイント引当金の増減額（△は減少）	21,980	19,578
受取利息及び受取配当金	△1,888	△1,030
支払利息	6,779	5,462
投資有価証券評価損益（△は益）	7,621	－
有形固定資産除却損	8,090	5,840
有形固定資産売却損益（△は益）	839	556
売上債権の増減額（△は増加）	△14,568	△21,345
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,422	△6,852
仕入債務の増減額（△は減少）	13,065	11,228
未払消費税等の増減額（△は減少）	10,797	19,087
その他の資産の増減額（△は増加）	△695	△62,935
その他の負債の増減額（△は減少）	△17,803	157,042
小計	730,843	746,944
利息及び配当金の受取額	2,285	1,157
利息の支払額	△6,831	△5,515
法人税等の支払額	△202,662	△239,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	523,635	502,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期性預金の預入による支出	△541,053	△497,284
定期性預金の払戻による収入	593,785	507,035
有形固定資産の取得による支出	△146,715	△89,845
有形固定資産の除却による支出	△7,616	△2,071
有形固定資産の売却による収入	238	1,760
無形固定資産の取得による支出	－	△294
出資金の払込による支出	△15	－
短期貸付けによる支出	－	△1,606
短期貸付金の回収による収入	40	639
差入保証金の差入による支出	△17,310	△16,929
差入保証金の回収による収入	41,130	17,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,516	△80,809

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	－
長期借入金の返済による支出	△109,739	△115,251
社債の償還による支出	△10,000	△35,000
リース債務の返済による支出	△8,299	△9,336
配当金の支払額	△60,463	△60,675
自己株式の取得による支出	△52	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,553	△220,263
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	357,564	201,538
現金及び現金同等物の期首残高	1,131,258	1,314,393
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,488,823	1,515,932

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。